風呂自動・給湯・暖房機能付

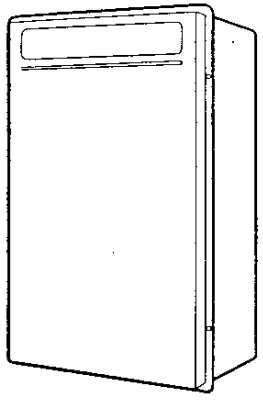
ヒーツ熱交換器ユニット

型式名
GS-P500T

取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使い方で上手にお使いください。

品番（給湯能力により異なります）
49-523（24号）
49-524（33号）



もくじ

- 特長……1
- 各部の名称とはたらき……2
- 必ずお守りください……4
- ご使用前に……5
- ふろ自動の使いかた……7
- 追いだきの使いかた……9
- 給湯の使いかた……12
- 暖房の使いかた……14
- 凍結予防について……15
- 暖房水の補給のしかた……16
- 点検・手入れ……17
- 故障・異常の見分け分と処置方法……18
- アフターサービス……18
- 長期間使用しない場合……19
- 仕様……20

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4－1－2	☎大阪 06（202）2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2－9－41	☎大阪 06（652）0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3－6－35	☎大阪 06（301）1251
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2－2－19	☎堺 0722（38）1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39－6	☎高槻 0726（71）0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4－11	☎西宮 0798（26）3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2－3－17	☎河内 0729（62）1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16－17	☎枚方 0720（41）1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5－13－10	☎神戸 078（576）5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075（231）8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2－4－1	☎奈良 0742（44）1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1－5	☎和歌山 0734（31）2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4－8	☎姫路 0792（85）2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町栗津29－1	☎加古川 0794（21）1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6－57	☎豊岡 07962（3）2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680－1	☎草津 0775（62）5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	☎彦根 0749（22）3131
長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3－4	☎長浜 0749（62）7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

7156411911800O

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのヒーツ熱交換器ユニットをお求めいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

特長

風呂自動機能

◉スイッチを押すだけで、浴槽へのお湯はり、追いだき、保温、たし湯をおこないます。

大能力給湯

◉同時使用にも影響が少なく、浴槽へのお湯はり時間も短くてすむ大能力給湯

暖房水自動補給

◉暖房水が不足した時、自動的に補給します。

クリーン暖房

◉暖房は、温水を使用するため、お部屋の空気を汚さないクリーン暖房です。

簡単操作

◉給湯は、給湯栓を開くだけで、自動的に運転をします。
◉暖房は、お部屋の放熱器の運転スイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。
◉風呂は、風呂リモコンのスイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。

各部の名称とはたらき

風呂リモコン

○内の数字は説明しているページを示します。
※各スイッチは、スイッチのすぐ上のランプ(緑)点灯で「入」、消灯で「切」です。

たし湯「切」スイッチ⑧
このスイッチを押すとたし湯を行いません。

追いだきスイッチ⑨
このスイッチを押すと設定された温度まで沸き上げます。

ふろ自動スイッチ⑦
このスイッチを押すとお湯はりから沸き上げまで自動で行います。

給湯ランプ(赤)⑦⑫
給湯側を使用したとき点灯します。
※異常があると点滅します。

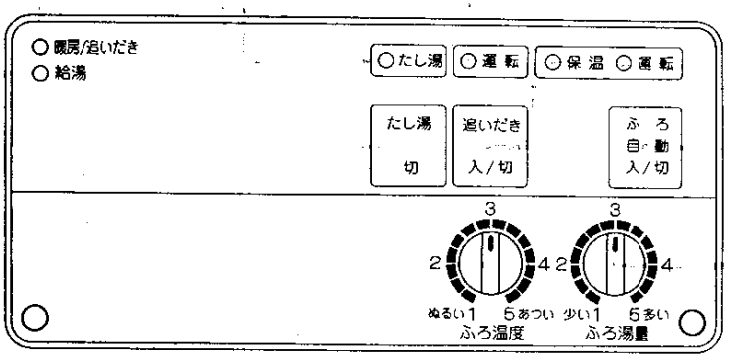
たし湯ランプ(緑)⑧
ふろ自動を押すと自動的に点灯し、保温ランプ点灯中たし湯運転を行います。

保温ランプ(緑)⑦
風呂が沸き上がると4時間点灯し、保温していることを知らせます。

暖房/追いだきランプ(赤)⑦⑭
暖房側を使用したとき点灯します。
※異常があると点滅します。

(追いだき)運転ランプ(緑)⑨
追いだき中点灯します。
追いだき完了で消灯します。

(ふろ自動)運転ランプ(緑)⑦
お湯はり中点灯し、保温になると消灯します。



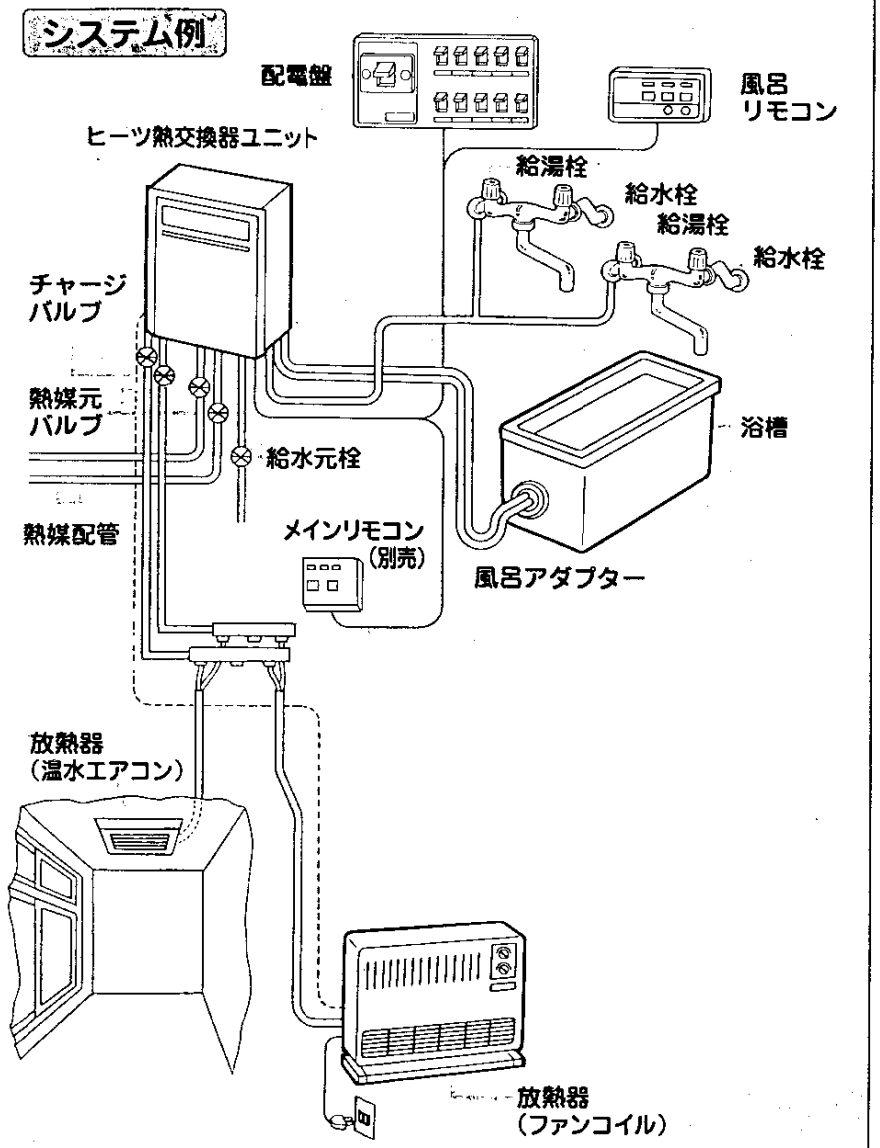
ふろ温度つまみ⑦⑨

1⇨	約36℃
2⇨	約38℃
3⇨	約41℃
4⇨	約44℃
5⇨	約47℃

ふろ湯量つまみ⑦

1⇨	風呂アダプターから約4cmの高さまでお湯がはいります。	
2⇨	〃	約12cmの高さ 〃
3⇨	〃	約20cmの高さ 〃
4⇨	〃	約28cmの高さ 〃
5⇨	〃	約36cmの高さ 〃

システム例



必ずお守りください

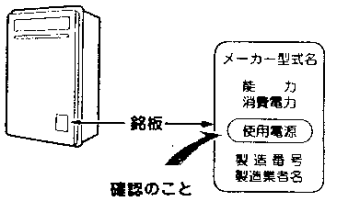
据えつけるときに

●専門業者による設置工事が必要

この熱交換器ユニット(以下器具と略します)は他の熱源機と接続し、その熱源機より温水の供給を受けて、初めて機能を発揮します。このため資格を有する専門業者以外はこの器具の設置工事はできません。
設置工事は、必ずお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に依頼してください。

●使用電源を確かめて

AC100V用です。
銘板に表示してある電源と、お宅の電源が一致しているか確かめてください。



●用途について

給湯と暖房と風呂がおのおの独立して、お使いいただけます。
③ページに示すシステム例に準じた用途で使用してください。

●補助具は附属品・指定品で

標準附属品・指定の別売部品以外の補助具は、使用しないでください。

お使いいただくときに

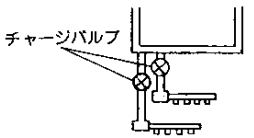
●たまっていた水は飲まないで

器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

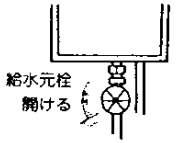
ご使用前に

使用前の準備と確認(器具の使用前に次のことを確かめてください。)

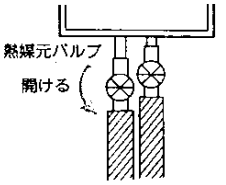
① チャージバルブが全開になっていることを確かめる



② 給水元栓が全開になっていることを確かめる



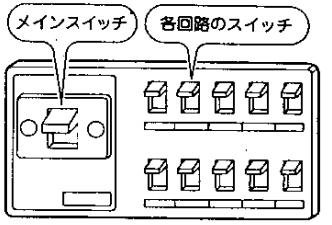
③ 熱媒元バルブが全開になっていることを確かめる



④ 配電盤のスイッチを入れる

配電盤のスイッチがはいっていることを確認してください。

各回路のスイッチの中で、どのスイッチがこの器具に通じているか？を確認してください。



(配電盤)

⑤ 浴槽の排水栓が閉っていることを確かめる

※排水栓の確認は習慣づけるようにしてください。

ご使用前に

ふろ自動運転前の準備と確認

風呂ポンプの呼び水 …… つぎの場合は必ず呼び水をしてください。

- 試運転時
- 器具および風呂配管の水抜きをした時
- 長期間浴槽を空にした時

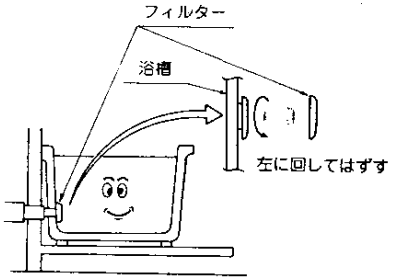
風呂ポンプ呼び水のしかた

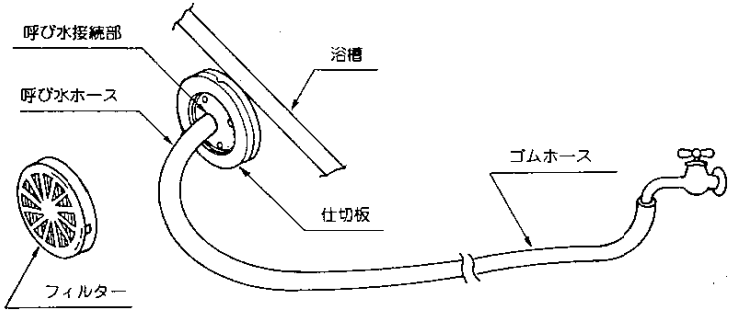
① 風呂アダプターのフィルターを外します。

② 呼び水接続部にホースを強く当てます。

③ 仕切板の裏側より水が出るまで呼び水をします。

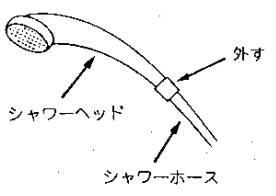
④ フィルターを元通りに取付けます。

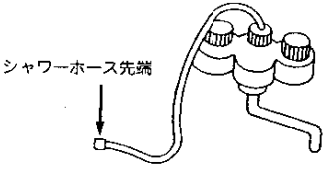




ゴムホースが使えない場合はシャワーホースを使用してください。

〔シャワーヘッド〕





ふろ自動の使いかた

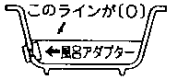
ふろ自動運転

湯量・湯温の設定

❶浴槽にためる湯量を設定する

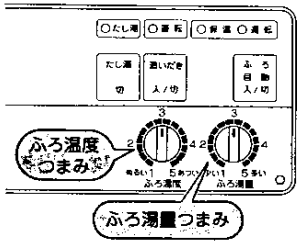
つまみの位置	湯　量
1	約4cm
2	約12cm
3	約20cm
4	約28cm
5	約36cm

風呂アダプター上端を〔0〕とし、つまみの位置で左表の湯量に調節できます。



❷浴槽にためる湯温を設定する

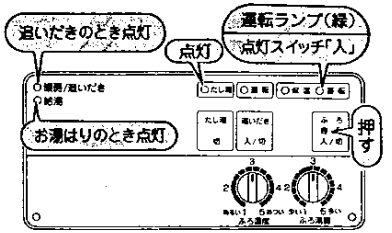
つまみの位置	湯　温
1	約36℃
2	約38℃
3	約41℃
4	約44℃
5	約47℃



運転

❶ふろ自動スイッチを押す

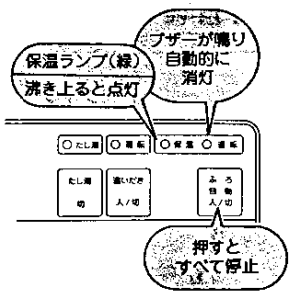
- 運転ランプ(緑)とたし湯ランプ(緑)が点灯し、風呂の自動運転が始まります。
- お湯はりのとき、給湯ランプ(赤)が点灯します。
- 追いだきになると、暖房／追いだきランプが点灯します。



保温と停止

❶ブザーおよび保温ランプ点灯で完了
❷4時間保温運転をした後、自動停止

- 沸き上げが完了すると、運転ランプ(緑)が消灯し、ブザーが鳴ると共に、保温ランプ(緑)が点灯し、4時間保温運転とたし湯運転を行ないます。



途中で停止させたい時

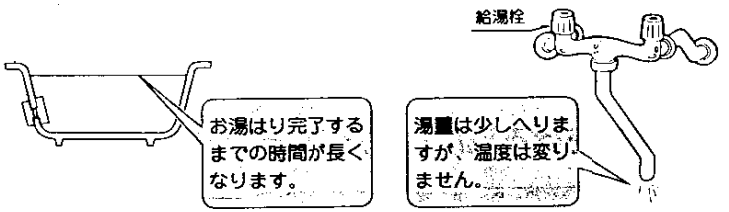
ふろ自動入/切 のスイッチを押してください。

すべての運転ランプ(緑)が消灯し、運転を停止します。

ふろ自動の使いかた

ふろ自動時のご注意

●お湯はり中に給湯を使用すると



●浴槽に残り湯のある時

ふろ自動入/切 のスイッチを押してください。

残り湯が少なければ設定した湯量までお湯はりし、設定温度まで自動的に沸き上げます。

●たし湯運転について

ふろ自動入/切 のスイッチを押すと自動的にたし湯ランプが点灯し、保温ランプ点灯後、浴槽の湯が少なくなると自動的に「たし湯運転」を行います。

「たし湯運転」が必要でない場合は たし湯切 のスイッチを押してください。たし湯ランプが消灯し、たし湯運転を停止します。

●自動運転中に排水栓を抜くと

30分間お湯はりを続けますから、排水栓を抜く時は一旦 ふろ自動入/切 のスイッチを「切」にしてから排水栓を抜いてください。

停電・断水の時（風呂自動運転時）

停電時……運転は停止し、すべてのランプが消灯します。
再通電した時は再度ふろ自動スイッチを「入」にしてください。

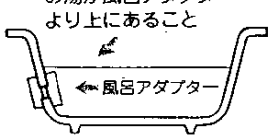
断水時……運転は停止しますが、運転ランプ(緑)は点灯したままです。
再通水した時はいったんふろ自動スイッチを「切」にした後、再度「入」にしてください。
暖房水が不足しますと、安全装置が働き、追いだきができなくなります。
このような場合、通水後⑯ページの 再使用方法 の操作をしてください。

追いだきの使いかた

追いだき運転

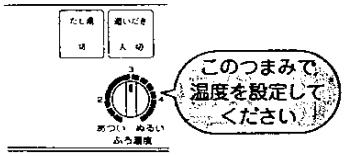
確認と湯温の設定

❶ お湯が浴槽内の風呂アダプターより上にあることを確かめる



❷ 沸きあげる温度に設定する

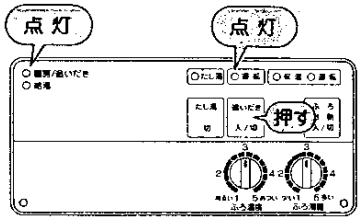
つまみの位置	湯　温
1	約36℃
2	約38℃
3	約41℃
4	約44℃
5	約47℃



運転

❶ 追いだきスイッチを押す

- 追いだき運転ランプ(緑)が点灯し、設定された温度に沸き上げます。
- 運転中は、ふろ/暖房ランプ(赤)が点灯します。

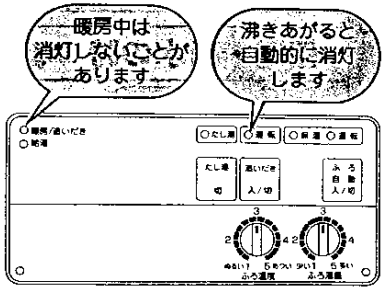


停止

❶ 沸きあがると自動停止

- この時、追いだき運転ランプ(緑)、暖房/追いだきランプ(赤)が消灯した後、自動的に停止します。

暖房使用中は、暖房/追いだきランプ(赤)が消灯しないことがあります。



追いだきの使いかた

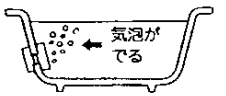
追いだき運転時のご注意

● 浴槽にお湯がないのに(追いだき)を使用したとき

約2分間運転した後、停止します。

● お湯を十分入れて再使用した時

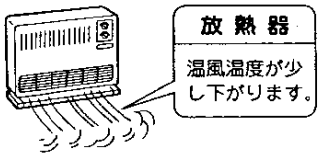
器具の運転音が少し大きくなります。 → 1～2分後風呂アダプターより気泡がでてはじめます。 → 4～5分で気泡が少なくなり、正常な運転に戻ります。

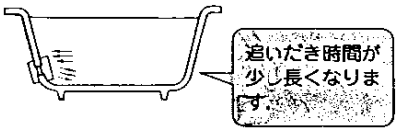


手を入れて湿水のでていることを確かめてください。

追いだきができない場合、風呂ポンプの呼び水作業が必要です。
⑥ページの説明文にしたがって風呂ポンプの呼び水をしてください。

● 暖房使用時に(追いだき)を使用したとき





※放熱器が1～2台程度ですとあまり影響はありません。
※放熱器が多くなると、上図に示す影響が出やすくなります。
このような場合、放熱器の運転を1～2台にへらしてください。

● 追いだき停止タイマーについて

追いだき時間が80分以上になりますと、安全のため自動的に停止します。
特に大型の浴槽を使用し水から沸き上げる場合、希望の温度になる前に停止することがあります。このような場合、再度追いだきスイッチを「入」にしてください。

追いだきの使いかた

追いだき時のご注意

停電・断水のとき（追いだき運転時）

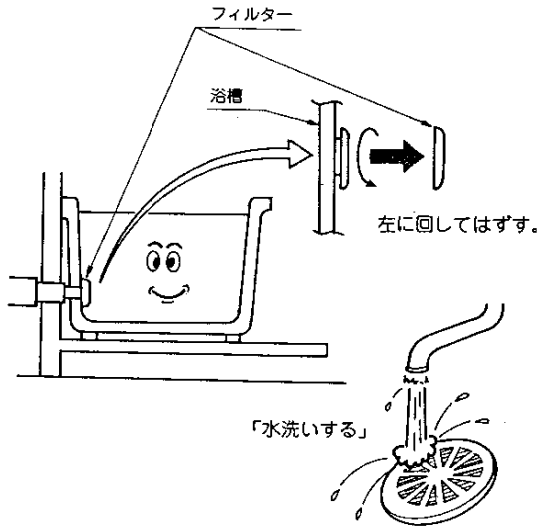
停電時……運転は停止し、すべてのランプが消灯します。
再通電した時は再度追いだきスイッチを「入」にしてください。

断水時……断水してもそのまま追いだきを行いますが、暖房水が不足してくると、安全装置が作動し、運転を停止します。通水後⑯ページの 再使用方法 の操作をしてください。

●風呂アダプターの掃除について

浴槽内の風呂アダプターのフィルターを外し、月に１回程度掃除してください。

※なお、フィルターの掃除をしたあとは必ずもとのように取り付けてください。



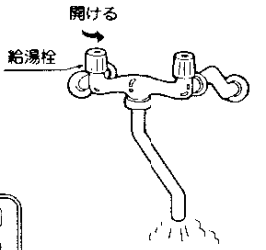
給湯の使いかた

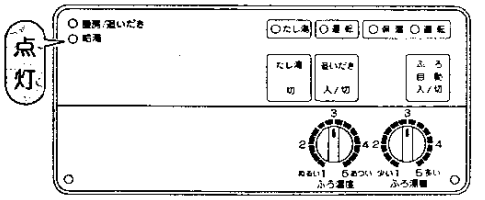
運転

給湯運転

●お湯を使用する場所の給湯栓を開ける

●給湯ランプ(赤)が点灯し、給湯運転を始めます。

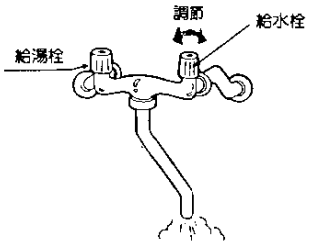




温度調節

●給湯栓・給水栓で調節する

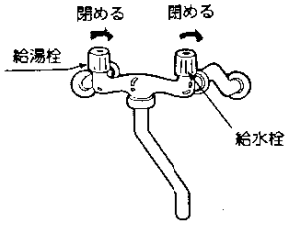
●器具は60℃の湯が出るよう調節してあります。
60℃よりも低い湯がほしいときは、水をまぜて調節してください。



停止

●給湯栓・給水栓を閉める

●約30秒後に給湯ランプ(赤)が消え、給湯運転を停止します。

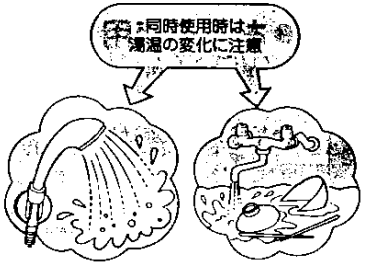


給湯の使いかた

お使いのときの注意

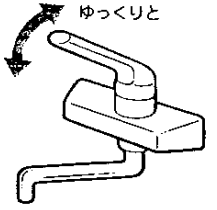
●２箇所使用するときは湯温の変化に気をつけて

２箇所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
シャワー使用中は、特に注意してください。



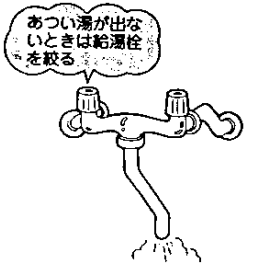
●給湯栓はゆっくり操作で

給湯栓(特にシングルレバー式)は急に閉めると、音がすることがあります。
(これは水撃作用〈ウォーターハンマ〉によるもので故障ではありませんが、器具の寿命を短かくすることがあります。ゆっくり操作をしてください。)



●あつい湯が出ないときは湯量を絞って

冬期水温が低くなりますと、湯量が多い場合には、あつい湯が出ないことがあります。
このような場合には、湯量を絞ってお使いください。



停電・断水のとき(給湯運転時)

停電時……湯温がさがり、水しかでなくなりますので、通電するまで給湯栓は閉めてください。

断水時……運転は停止しますが、再通水すると自動的に運転しますので給湯栓を閉めてください。

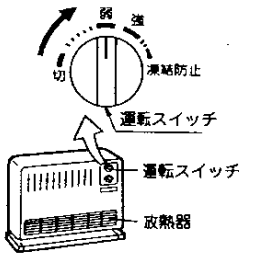
給湯時のご注意

暖房の使いかた

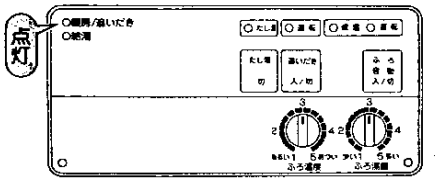
暖房運転

●暖房するお部屋の放熱器の運転スイッチを入れる

- 暖房/追いだきランプ(赤)が点灯し、自動的に暖房を開始します。

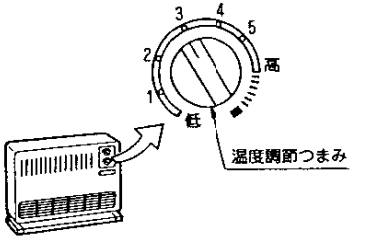


- 暖房/追いだきランプは、室温により点灯↔消灯をくり返すことがあります。



運転

●室温の調節は放熱器の温度調節つまみで行う

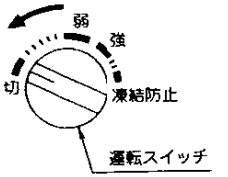


温度調節

●放熱器の運転スイッチを「切」にする

- 自動的に暖房を停止します。
- 暖房/追いだきランプ(赤)が消灯します。

(追いだき中や他の放熱器を使用中は運転スイッチを「切」にしても、暖房/追いだきランプ(赤)は消灯しないことがあります。)



停止

暖房の使いかた

お使いのときの注意

●放熱器の説明書も合わせてよく読んで

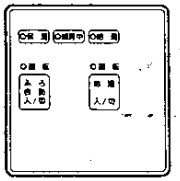
放熱器には、いろいろの種類があります。それぞれの説明書に従って操作してください。

停電・断水のとき（暖房時）

停電時……運転は停止します。再通電すると運転を再開する放熱器と再開しない放熱器があります。ご使用の放熱器の説明書をよくお読みください。
また、停電中は念のため放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。

断水時……そのまま使用できますが、暖房水が不足してくると、安全装置が作動し運転を停止します。通水後⑯ページの 再使用方法 の操作をしてください。

メインリモコンを使用している時



給湯スイッチ
このスイッチを押すと、給湯運転の準備をします。

ふろ自動スイッチ
このスイッチを押すとお湯はりから沸き上げ、保温まで自動で行います。

詳しくは別売メインリモコンの取扱説明書に従って操作してください。

凍結予防について

凍結予防について

本器は、原則として凍結の心配のない場所に設置します。

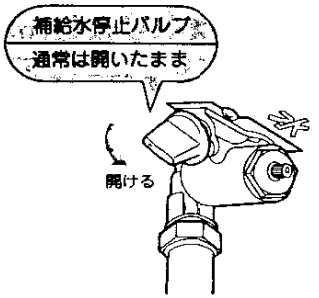
従いまして凍結予防のための操作は必要ありません。

※資格を有する専門業者が施工したことを確認してください。

暖房水の補給のしかた

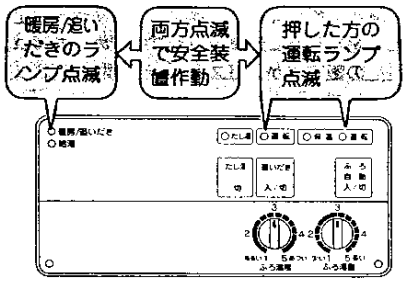
●暖房水は自動補給

- 暖房水は蒸発などにより減少します。
- 器具の暖房水が不足しますと、暖房水は自動的に補給されます。器具右下の補給水停止バルブは、開いたままにしておいてください。



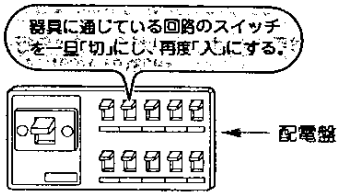
●断水の時

- 断水の時、暖房水が不足しますと、安全装置が働き、通水しても、暖房および追いだきが使用できません。
- このような場合、運転ランプ(緑)と暖房/追いだきランプ(赤)が同時に点滅します。
- 運転ランプ(緑)と暖房/追いだきランプ(赤)が同時に点滅している時は、通水後、下記 再使用方法 の操作をしてください。



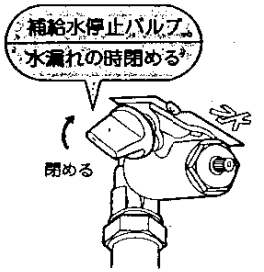
再使用方法

- 配電盤のスイッチの中で、器具に通じている回路のスイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。



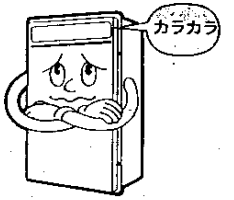
●暖房水補給停止

- 万一、器具や放熱器から水が漏れたときには、補給水停止バルブで暖房水の補給を停止し、すぐ使用を中止してください。



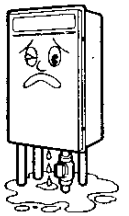
点検・手入れ

●異常音はありませんか？



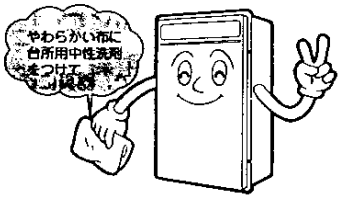
●異常音のときは、すぐ使用を中止し、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

●水漏れはありませんか？



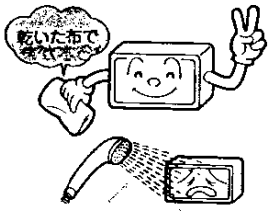
●水漏れしているときは、すぐ使用を中止し、給水元栓、熱媒元バルブを閉め、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

●器具は汚れていませんか？



●お手入れは、器具が冷えてから行なってください。

●風呂リモコンは乾いた布で！



●汚れた場合は乾いた布で拭いてください。

●風呂リモコンにシャワーの湯をかけたり、洗剤液をかけたりしないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

故障・異常の見分け方と処置方法

●使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行ない、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

症　　状	処　　置	参考ページ
あつい湯がでない (時間によってぬるくなる時がある)	湯量を絞ってください	⑬
暖房のききが悪い	追いだき使用中は、暖房能力がダウンします。室内放熱器の運転を1～2台にへらしてください。	⑩
浴槽の水位が安定しない	風呂ポンプの呼び水をしてください。	⑥
たし湯ができない	風呂自動スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。	⑧
暖房／追いだきランプ(赤)が点滅している	そのまま使用できますが、部品のトラブルが考えられますのでサービスを依頼してください。	—
給湯ランプ(赤)が点滅している	同上	—
緑のランプと暖房／追いだきランプ(赤)のランプの両方が点滅している	配電盤のスイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。	⑯

アフターサービス

サービス(点検・修理)を依頼される前に

●上記の「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てお調べになり、直らないとき、あるいはご不明のときは、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

連絡していただきたい内容

(1)機種名(49-523又は49-524)・型式名(GS-P500T)
(2)お客様のご氏名・住所・電話番号・道順
(3)故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
(4)器具購入日および訪問ご希望日

アフターサービス

保証書について

- 必ず「お買い上げ日および販売店名」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より２年間です。

保証期間中は

- 保証書の記載内容に従ってお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)が修理いたします。

その他の詳細は保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

- お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に相談してください。

修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- このヒーツ熱交換器ユニットの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。

補修用性能部品とは、器具の機能を維持するために必要な部品です。

保守契約制度

- 保守契約制度(有料)に加入していただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に相談してください。

連絡先

- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店か、裏表紙へ記載している支社へお問合わせください。

長期間使用しない場合

お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

仕様

仕様表

項目		仕様	
品名		〔風呂自動・給湯・暖房機能付〕ヒーツ熱交換器ユニット	
機種名		49-524	49-523
外形寸法(mm)		幅480mm × 高さ750mm × 奥行き300mm	
標準出力(kcal/h)	給湯	50,000	36,000
	暖房	10,000	8,000
	追焚	6,000	4,500
熱媒系統	温度	80℃	
	差圧	5 mH_2O	
	循環流量	33ℓ/min	21ℓ/min
	常用圧力	10kg/㎠以下	
給湯所要水圧		2 kg/㎠	
最大出湯量		15ℓ/min	12ℓ/min
給湯湯温制御		60℃一定(風呂自動時でも60℃キープ)	
暖房湯温制御		68～80℃	
風呂湯温制御		36℃～47℃の調節可能	
追焚湯温制御		36℃～47℃の調節可能	
風呂水位調節		風呂アダプター上端＋4 cm～＋36cmの範囲で調節可能	
暖房機外揚程		7 mH_2O (at 10ℓ/min)	
追焚機外揚程		4 mH_2O (at 10ℓ/min) 自吸能力 3 mH_2O	
暖房水膨張吸収容量		0.8ℓ	
使用電源		単相 AC100V 50/60Hz	
標準消費電力		200 / 240W	
製品重量		42kg	
接続口径	熱媒	20A (G3/4オネジ) (往き・戻り)	
	給水	20A (G3/4オネジ)	
	給湯	20A (G3/4オネジ)	
	暖房	20A (G3/4オネジ) (往き・戻り)	
	追焚	15A (G1/2オネジ) (往き・戻り)	
	オーバーフロー	15A (R1/2オネジ)	
	電線管	CTC31 オネジ 2ヶ	
標準付属品		風呂リモコン・ソルダー継手	

※本仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。